

IV 課題と対策

1 会 員

▶ (1) 会員の増強

ここ数年の会員数は全国的に減少傾向となっています。私たち昭島市シルバー人材センターでも1,000人を割り込んだときもありましたが、その後増強に努めた結果、平成28年1月には1,120人まで回復しました。

シルバー人材センターは、仕事があって、その仕事に就業する会員がいて事業の発展が図られます。したがって会員の増強は不可欠なものとなっており、会員増強検討委員会の活動をより活発に行っていきます。

☆入会説明会の充実強化

毎月1回、第三水曜日に実施している入会説明会を、センターのみならず他の施設を利用し実施してきましたが、今後も引き続き入会しやすい方策を総務部会等で検討・実施していきます。

☆女性会員の増強

女性向けの就業依頼が増えている昨今、女性会員の増強は急務です。毎年4月と10月の入会説明会では特に女性対象の日を設けて増強に努めてきました。これを継続していきます。

☆技能職会員の増強

植木職や表具・表装、または筆耕など技能を必要とする職種の会員も不足しています。

入会を促進すると共に、東京しごと財団での研修や講習へ参加を

促し、技能職会員の増強に努めていきます。

☆会員の退会抑止

女性の未就業会員を対象に交流会を開催し会員同士の交流を図ると共に会員の意思を確認して就業につなげており、今後も継続し、男性未就業会員に対しても検討していきます。

☆就業相談の日

毎月第一火曜日に実施している「就業相談の日」を会員へ周知し、利用者増を図ります。

☆その他の相談事業

平成28年度には第一火曜日に、行政書士の資格を有する会員による、暮らしに必要な法律手続きの相談会を開催いたしました。今後もセンターの事業にとらわれない相談事業を検討・実施していきます。

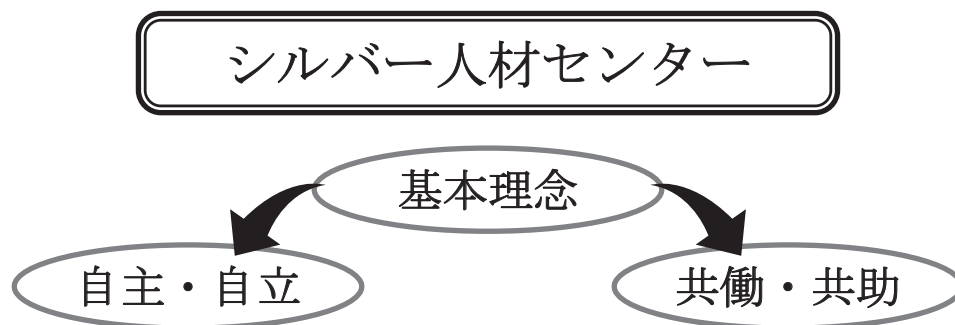
☆職群班からの相談

職群班別担当理事による相談会の実施について検討していきます。

➤ (2) 目的意識の高揚

会員は「シルバー人材センターの基本理念」を常に認識しながら行動することが求められます。シルバー人材センターの運営に関わる場合や、仕事の開拓、就業の際の心構えに欠くことのできない理念ですので将来にわたって途切れること無く引き継いでいかなければ

ればなりません。



◎会員である高齢者が、自主的にその生活している地域を単位に連帯して、共に働き、共に助け合っていくことを目指しています。

◎高齢者の就業を促進することにより、高齢者自身の活動的な生活能力を生み出すと共に、その家族や地域社会に活力を生み出し、ひいては地域社会活性化につなげていきます。

◎働く意欲と能力を持った高齢者であればだれにでも参加の道を開き、自主的な組織参加と労働能力を発揮することにより、豊かで積極的な高齢期の生活と社会参加による生きがいの充実を図ろうとするものです。

☆地区・地域班活動

センターと会員との緊密な体制を常時維持することは、事業活動を円滑に進めるために無くてはならない要素です。各地区で役員の行動計画の下で、種々活発な地域班活動を行って常にセンターを活性化させ、併せて会員お互いの連帯意識を高めていきます。

☆職群班活動

広い分野で活躍して豊富な経験を積んできた会員が班を結成し、融和を図りながら互いに協力し助け合うことが実践されれば、必ず顧客の信頼を勝ち取ることができます。常に会員自らが職群班活動を能動的に行い、あらゆる情報を活発に交換し合い仕事の質を高めましょう。少人数でも同じ仕事仲間の集合体を立ち上げ、仕事に必要なあらゆる情報の共有を図り実務に反映させていきます。

☆意識向上の対策

シルバー人材センターの基本理念に照らして、今自分が行っている行動が受け入れられているかいないか、一度立ち止まって振り返ってみましょう。そして、より向上していくために各種研修会・講習会への積極的な参加、職群班・地域班の活発な活動、地域への社会奉仕の実践を通して、シルバー人材センターの基本理念の理解を高めていきます。

➤ (3) 安全就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センターにとって重要な課題のひとつです。

高齢期という円熟した時期を充実したものにするためにも傷害事故や健康障害が起こらないよう、センターの役職員ならびに会員が一体となって、安全管理・健康管理及び交通安全に努め、安全就業に取り組むことが大切です。

☆安全管理

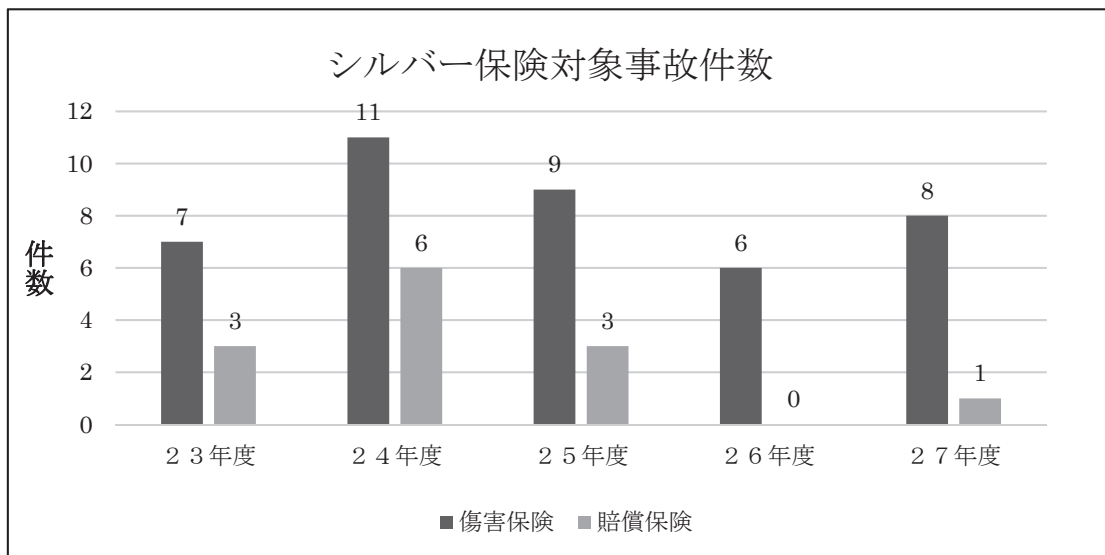
会員が、就業するにあたり「安全は全てに優先する」ものであります。

しかしながら、会員の加齢による身体の衰えをはじめ、慣れによる慢心や過信による事故が、後を絶たない状況にあります。

このような事故は、安全対策の徹底やルールを順守していれば、防ぐことができたケースも多々あります。

事故撲滅のためには、会員自身が安全意識を持ち安全管理体制の整備、また安全管理教育を充実させ、会員に安全意識の高揚を図ると共に、事故分析と問題点の特定や検証を行い、組織が一丸となり事故を未然に防ぐよう取り組みを行う必要があります。

「事故ゼロ」を目標とし、仕事に従事し、地域の皆様から信頼されるセンターを目指していきます。



☆健康管理

センターの基本理念は、健康で生きがいのある生活を送る手段を提供することにあります。

しかしながら、会員の退会理由で一番多いのは健康上の問題であります。

安全管理委員会では、会員の健康管理に関する意識の高揚を図るため各種健康管理講座の開催、また市役所等が実施する各種住民健康診断等、積極的に受診するよう勧奨に努め、健康上の問題で退会することが無いように会員の健康管理に役立つような情報を提供していきます。



(4) 地域奉仕活動の実施

シルバー人材センターは、公益法人として、地域にも貢献することを目的に設立されています。当シルバー人材センターでは、平成17年に設立30周年の記念事業としてスタートした「パトロールボランティア」を行っています。現在は、パトロールボランティア実行委員会を中心に、地区の登録会員が一同に集う「合同パトロール」等も企画し、活動しています。この功績が認められ、平成28年度には、東京都より、東京都青少年・治安対策本部長賞もいただきました。

また、他にも「子どもまつりボランティア」「昔あそびボランティア」「市内公共の場への花植えボランティア」や、「昭和公園の松の手入れボランティア」等も行っています。

そして、平成23年度より、当センター敷地内を利用して、「昭島シルバーふれあい祭り」を開催しています。地域の方を招待し、500人を超える方が来場されています。この「昭島シルバーふれあい祭り」を更に大きく発展させていきます。

また、「会員作品展示会」も同時開催しており、会員だけでなく、イキイキニコニコ介護予防教室の受講者や地域の保育園等にも参加していただき、開催していきます。今後、地域に貢献できる新規ボランティアを検討していきます。

